

AMCWA会報

**ミャンマーで総選挙へ
-政権に関わらず支援を-**
アジア母子福祉協会理事長 寺井融

ミャンマーで「12月28日に国政選挙を実施」と発表された。これについて①現政権に選挙を行う資格がない②まずクーデター前の旧政権に戻す③そのうえで第三者、国際機関の関与のもとで公正な選挙を行うべきだ、との反対論がある。

一見もっともだが筆者は、これには与しない。なぜなら、その実現性が乏しく、現軍政の長期化に手を貸すことになるからである。2010年選挙の際も、軍政の衣更えに過ぎないと批判した人たちがいた。しかし2010年に発足したティ



NPO法人 アジア母子福祉協会
東京都品川区西五反田2丁目15番7号
ジブラルタ生命五反田ビル3F-ITL
mail : tokyo@amcwa.org tel/fax : 03-6424-5681

ンセン政権は政治・労組・言論などの自由化、二重為替の解消や経済の民主化などで建国以来の経済発展をもたらした。

選挙を実施しようとしても、國土・国民のどの程度をカバーできるのか。国民がそれを支持するのか、国際社会はそれを認めるのか。何よりも、選挙で誕生した新政権が自由で公正な社会を作れるのか。疑問点は多々ある。

そうであったとしても一步踏み出すべきで、それを日本が支援したらよい。

以上は、わが法人の公式見解ではない。

わが法人はミャンマーがどんな政権であろうと、一貫してミャンマー国民の生活向上に寄与したいと取り組んできており、今後も変わらない。



創立25周年おめでとうございます

ミャンマー母子福祉協会理事長
サン サン ミン ウォン

アジア母子福祉協会の25周年おめでとうございます。貴協会とは2000年の設立早々に、山口理事長はじめとする代表団がヤンゴンの弊会本部に来訪されて以来のお付き合いです。

弊会はミャンマーの母親と子供の健康増進を妊娠、出産、育児、奨学金、職業訓練など様々な形で推進するNGOであり、22,000支部にボランティア約500万人を擁します。

これまで、貴協会とは、里親制度、ノート10万冊

や中古自転車の寄贈、そして2014年度以来、連合「愛のカンパ」による幼稚園の改修支援、什器備品、新型コロナ対策、震災対策など、様々な形で継続的かつ大きなご支援をいただいており、また相互理解のための交流を重ねてきました。ここに弊会を代表して篤く感謝申し上げます。

貴協会のさらなる発展をお祈りするとともに、これからも弊会との連携とご支援を心からお願いいたします。



奨学金や農園へのご支援に感謝します

サマタン園事務局長 コーナイン



AMCWAの皆様のサマタン園への梁井新一奨学金や農園の整備のための応援にいつも感謝しています。

これからも末永く団体とその支援活動が続くようお祈りしています。

AMCWA関係者の皆さんのが健康と長寿をサマタンよりお祈りしています。

梁井様のサマタン在籍大学生への教育支援には大変感謝しています。大学を卒業したおかげで就職することもできました。多くの学生が専門的な

ことを身につけることができました。

梁井さんとご家族の生活が豊かで健康であるようにお祈りしています。

★総会開催★ 5月18日土曜日午後2時より、三田の友愛会館にて総会を開催し、活動報告、決算、会計監査及び活動計画、予算と役員人事が討議され、すべて承認されました。詳しくはホームページをご覧ください。

★グローバルフェスタ開催★

9月27日土曜日～28日日曜日、新宿住友ビルにて開催。AMCWAの活動内容をコンパクトにご紹介しました。NPO、省庁・団体・企業、大使館等、200弱が出展し来場者見込6万人。

マダガスカル NGO Ambato Fy とのコラボイベント

AMCWA正会員 櫻井文

NGO Ambato fyは2016年に設立し、来年2026年で創立10周年となります。その記念としても今回のAMCWAとの初コラボイベント植林を成功させたいと考えております。その中でこれまでの植樹内容を振り返り、今後の内容を検討したく思います。



2015年から2020年までの5年間は毎年植林を行い、合計約5000本を植えました。（2020年コロナ禍以降は行えておりません。）内容は、竹、シナモン、果樹の木（オレンジ、レモンなど）、石鹼の木などです。その後根付いているのは約6割。故石原氏から購入した桜の苗木はしっかりと根付いて、開花しています。桜はNGOの土地、気候に合っていたのでしょうか。（同時期に植えた北西の

暑いマジュンガでは上手く育ちませんでした。）いつかこの桜の木が立派に育ち、住民達とお花見ができたらと思い描いています。また桜の苗木が手に入れば、今後の植林でも「日本人のいる現地NGO」のシンボルとして他団体と差別化でき、苗木の内容も生前の石原さんの意思を引き継ぎ、外来種ではなくその土地に被害のない在来種を選んで植えていく予定です。マダガスカルの植林ではよく「○本植えた」に注目されがちですが、NGOの基本理念である「生活改善」という視点で、長期的目線で現地に被害なく有益となるような植林の「質、内容」を充実させていけたらと考えています。



ミャンマーの今 女性達へ支援できること

AMCWA常務理事 大崎直美



ミャンマーの情勢はご存知の通り、世界がコロナウイルスの恐怖に震えている最中、2021年2月1日にクーデターが起こりました。国民にとっては、なんとも理不尽な出来事です。4年が経過した現在も収束の兆しは見えません。本年12月に選挙実施との報道もありますが公正な選挙となることを切に願うばかりです。

内戦状態が地方で続く中、日々の生活は続いている、徴兵や国外への就労で若者が流出していく中で、残された女性たち、とりわけ子育て中の若い母親や年老いた親を世話している女性たちへの支援が急務であることは周知の事だと思います。

アジア母子福祉協会（AMCWA）として何か支援ができないかと考えていたところ、昨年ミャンマーを訪問した際に、ヤンゴン市内にある小さな縫製工場のリーダーの方とご縁を頂きました。彼女は経営者というよりも、働きたい女性たちをまとめるリーダーのような存在でした。

この工場は（と呼べるレベルのものではないのですが）、しっかりとした商社が介在しているわけではなく、輸出先も確立されていません。AMCWAが大量の品物を輸入することは難しいですが、彼女たちの就労を支援する一助になればと考えております。

また、AMCWAとしての日本の皆様にミャンマーの現状を知っていただき、寄付へのきっかけとして、トートバッグという形のあるものを通じて、ミャンマーの困難をより身近に感じていただけるのではないかと考えております。

25周年記念誌鋭意編集中



AMCWAの25周年を詳しく振り返り、今後の展望を確立するために、25周年記念誌を鋭意編集中です。年内発刊を目指しています。なお、弊会元理事千野浩司監督の「血の絆」の上映は延期となりました。

銀行口座が新しくなりました。◎ 三菱UFJ銀行 韶町中央支店 普通 0235788

口座名 特定非営利活動法人アジア母子福祉協会

寄付使途を特定される場合は、マダガスカル支援は「マ」ミャンマー支援は「ミ」をお名前の後につけてください。